

# 放送業界に係るプラットフォームの 在り方に関するタスクフォース (第3回) 説明資料

日本放送協会

2023/7/11

# 1. NHKの衛星波での外部制作事業者との連携について

# 番組制作会社はNHKを支えるパートナー

NHK



## NHK BS1「ミニドキュメンタリー」(企画競争)

- 企画募集「ミニドキュメンタリー」で数多くの提案のなかから採択された番組を放送
- ディレクターは番組制作会社に所属する主に35歳以下の若手

## Tokyo Docs (国際共同制作)

- ドキュメンタリーの国際共同制作のための企画提案会議
- ATP・NPO法人Tokyo Docs 共催
- NHKは協賛 採択番組はBS1などで放送

番組制作会社とNHKは互いに切磋琢磨し

適切な競争関係を促進して

制作能力の向上をはかることで

視聴者に成果を還元してきました。

この役割は新しい衛星2波でも変わりません



会う前に疲れちゃう。～マッチングアプリ代行サービスに密着～

初回放送日: 2023年3月20日

今や男女の出会いに欠かせないといわれるマッチングアプリ。しかし、約7割の利用者がやりとりに疲れてやめてしまう。そこで注目されるのがマッチングアプリ代行業だ！

今や男女の出会いに欠かせないといわれるマッチングアプリ。しかし、約7割の利用者がやりとりに疲れてやめてしまうというデータも。そこで注目されるのがマッチングアプリ代行業！面談をして依頼人の性格、趣味、恋愛履歴などを把握し、本人になりきって相手とやりとりしてデートまでこぎつける。そこには驚くメソッドがあった！



作曲家の父と私 50歳差で創るアイドルソング

初回放送日: 2023年3月19日

私の父は作曲家。73歳になった今でも曲を作り続けている。なぜ作曲を続けるのか？なぜアイドルソングなのか？駆け出しディレクターの娘が作曲家としての父を見つける。

私の父は作曲家。娘の私は駆け出しディレクター。父は73歳になった今でも曲を作り続けている。かつて父は小野正利さんの「You're the Only...」を作曲し大ヒット！だが今の主な収入はナイトクラブでの演奏で経済的に厳しい生活を送ってきた。そんな中挑戦しているのはアイドルソング。なぜアイドルソングを作るのか？父が作曲を続ける理由は？曲作りを手伝うことになった娘が作曲家としての父を見つける。



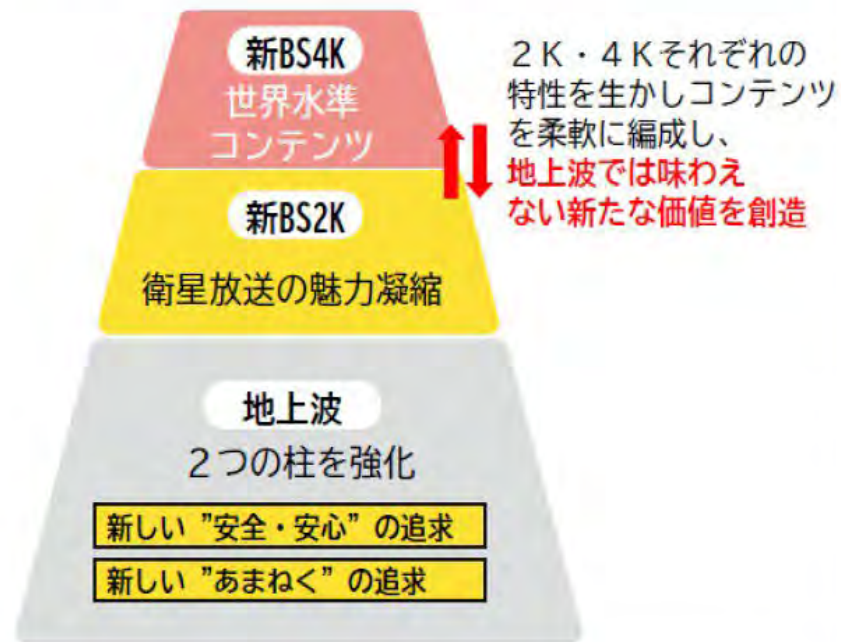
三畳一間 幸せのカタチ

初回放送日: 2023年3月12日

都内の三畳一間・極狭物件に住む若者たち。その生活をスマホで記録してもらった。彼らは、この部屋のどこに価値を見いだしたのか。日常から見えてきたそれぞれの幸せとは？

## 衛星波の整理・削減 概要

(2023年1月修正) 衛星波削減を踏まえた  
放送サービスのトータルプラン



サービスプラン

主な番組のジャンル

新  
BS  
4  
K

世界に通用する多彩な  
コンテンツ・高精細クオ  
リティを提供

- 自然・紀行番組
- ドラマ
- 音楽番組
- 教養エンターテインメント番組
- 4Kリマスター番組 など

新  
BS  
2  
K

BS1・BSプレミアムの  
コンテンツを中心に、  
衛星放送の魅力凝縮  
し、ライブ感を重視した  
機動的な編成

- 国内ニュース
- 国際ニュース・報道番組
- 海外ドキュメンタリー
- プロスポーツ
- アマチュアスポーツ など
- 災害・事件事故等の場合、総合テレビと  
同時に緊急ニュースを放送
- 2Kテレビで衛星放送をご覧になる  
視聴者に向け、新BS4Kの番組も放送

大規模災害時の  
対応

地震・津波等の大規模災害が発生し、東京の放送センターから放送ができなくなった場合は  
大阪放送局から新BS2Kに送信し全国の放送局が受信して放送する

## 期待される役割

- 衛星放送全体で番組制作会社と協業し、高品質のコンテンツを制作・放送する
- 放送・通信融合の時代を迎え、番組制作会社の著作権確保、2次展開を重視し産業育成に貢献する
- 衛星放送の特徴である「多様性」「先進性」を引き続き実現する
- 衛星放送の「広域性」を生かし、新BS2Kは首都直下地震等が発生した場合の放送継続を担う
- 受信料収入が今後減少するなか、番組制作会社・NHKの双方にとって持続可能な協業の形を追求する



## 基本的考え方

- 新BS2K(NHK BS)・新BS4K(NHK BSプレミアム4K)に対し、波の特性や役割に合わせてそれぞれ努力目標を設定
- 対象の取引は「番組制作会社が著作権を持つ番組(NHKと共同保有を含む)」とする

# 新BS2波 努力目標の対象取引

- **番組制作会社が著作権を保有** = 企画を発意し、制作責任を持つ(いずれもNHKと共同含む)委託番組が対象
- 番組制作会社による**放送・配信・番組販売など多角的な展開、国内・国際共同制作の促進**に貢献

		定義(番組制作会社との取引内容)	最終的な著作権の帰属	権料収入の配分
①	<b>放送番組制作業務委託(外部制作)</b>	番組制作会社が企画提案しNHKが採択した番組につき、番組制作会社とNHKまたは関連団体の共同の制作統括の下に制作される番組につき、その制作業務を委託するもの	NHKおよび番組制作会社の共有	あり(NHKの定めた配分比率による)
②	<b>国内共同制作</b>	NHKと番組制作会社が双方で一定の費用を負担し、共同で番組を制作するもの	NHKおよび番組制作会社の共有	双方の権利行使範囲および権料収入配分を個別に規定
③	<b>国際共同制作</b>			
④	<b>予約購入</b>	番組制作会社が企画・制作する番組の放送権を制作・完成に先立って購入するもの	番組制作会社	※NHKは初回放送から一定期間、独占的放送権を有するが、番組制作会社の事業展開のため一時的な解除が可能

※現在の「外部制作比率」では、「予約購入」「国際共同制作」は含まれていない

※現在の「外部制作比率」における「企画競争」のうち、番組制作会社が企画提案するものは①に含まれる

## コンテンツの信頼性向上 健全性確保への貢献

1月に修正したNHK中期経営計画で「コンテンツ産業への貢献」を明記

### 強化する重点項目

#### 1. 安全・安心を支える

災害のみならず、安全保障、感染症、地域課題など、暮らしの安全を支える「信頼できる情報」の発信を強化します。

○国際情勢や地域環境の変化を踏まえ、信頼できる情報の担い手として、健全な情報空間の維持に貢献します。

- ・フェイクニュースが蔓延する時代に対応し、事実を見極めるための情報の取材・制作機能を強化します。
- ・取材に裏打ちされた信頼性の高い報道を維持するため、ジャーナリズム人材の育成に注力します。
- ・専門プロジェクトを設けるなど、災害、科学、安全保障といった社会が要請する分野の強化に取り組みます。

○信頼されるメディアとしてコンテンツ強化に取り組むとともに、国内で流通するコンテンツの信頼性向上にも貢献します。

- ・学習形態の多様化に応じた教育コンテンツの充実など、質の高いコンテンツに経営資源を集中します。

・放送通信融合の時代における日本のコンテンツ産業の信頼性向上に、業界と協力しつつ取り組みます。

■放送通信融合時代における日本のコンテンツ産業の信頼性向上に業界と協力しつつ取り組みます

### 繰越金を活用した還元

#### 繰越金を活用したその他の還元

視聴者のみなさまの将来的な負担軽減に向けて先行投資に取り組みます

視聴者のみなさまに追加負担を強いることなくいかなる事態でも信頼できる情報を届け続けることができる存在へ  
※余剰が出れば「還元目的積立金」へ(改正放送法で明記)

○民間放送事業者と連携し放送ネットワークインフラ維持コストを低減 ※次頁参照

○設備投資コスト削減に向けた投資

○情報空間の健全性担保のための投資

○日本のコンテンツ業界の人材育成

還元規模(想定※) 700億円程度

■情報空間の健全性確保のための投資

■日本のコンテンツ業界の人材育成

# 番組制作会社との取引基準

- 取引基準に『番組制作会社は公共放送を支えるパートナー』と明記
- 健全なパートナーシップを築き、**番組の品質向上、日本のコンテンツ振興に資する**ことを目的としている

はじめに

「開かれたNHK」を目指し、番組制作会社への委託を始めた当初から、番組制作会社は公共放送を支えるパートナーと位置づけてきました。この基本方針は不変です。そして、NHK制作であれ、番組制作会社への委託であれ、放送番組の制作に携わるメンバーが、意欲にあふれ、能力を最高に発揮できることを、NHKは求めています。

このためには、NHKと番組制作会社との制作業務委託の取引が、権利と責任を明確にした健全で透明性の高いものでなければなりません。  
これが、「番組制作会社との取引基準」を定めた目的です。

「番組制作会社との取引基準」は、NHKおよび関連団体が番組制作会社に制作業務を委託する際の基本を定めたものです。  
NHK国内番組基準の遵守、個人情報の扱い、それぞれが確保する権利、業務実態の適正化のために双方が遵守しなければならない義務、等々について明記しました。  
制作業務委託のいっそうの適正化に取組み、視聴者の期待や信頼に応える優れた番組をともに制作していこうと考えています。

「番組制作会社との取引基準」は、NHKホームページに掲載し、どなたでも見られるようにしています。取引基準を公開することによって「取引の透明性の確保」「取引の公正性の確保」の必要性を、NHKグループで働く現場担当者も、番組制作会社の皆さんも共通認識として再確認し、個別の契約が取引基準と抵触するところがないか、当事者双方のチェックのもと、健全な取引をさらに確かなものにしていきたいと考えています。

2022年9月改定

日本放送協会

この「番組制作会社との取引基準」を、見直すべきか、健全な取引の徹底

**NHK『放送番組の制作に関する番組制作会社との取引基準』**  
[https://www.nhk.or.jp/kikakubosyuu/documents/nhk\\_torihikikijyun20220901.pdf](https://www.nhk.or.jp/kikakubosyuu/documents/nhk_torihikikijyun20220901.pdf)

1 「放送番組の制作に関する番組制作会社との取引基準」策定の目的

- ・ NHKおよびNHKの関連団体がグループ全体として、統一した基準を持ち、広く外部に公表することで、制作業務委託の公平性と透明性を高める。
- ・ 「下請法」、「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン」（総務省）<sup>※</sup>等を遵守し、制作業務委託の一層の適正化を進める。
- ・ 公共放送として、番組制作会社との健全なパートナーシップを築き、番組の品質向上、日本のコンテンツ振興に資する。

<NHK本体に関する取引と下請法についての考え方>

NHK本体には「資本金」の概念が存在しないため、NHKと番組制作会社との間の契約には、独占禁止法および一般指定の適用はあるものの、下請法の適用はない。  
ただし、NHKは、前掲「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン」等にも鑑み、NHKグループ全体と番組制作会社との間の取引の透明性及び公平性の確保の観点から、下請法の規定を実質的に遵守するものとしている。

2 この基準の適用範囲

<適用するもの>

- ・ NHKおよびNHKの関連団体が放送番組の制作に関して番組制作会社に業務を委託するものうち、放送番組（アニメ番組、日本語版制作、データ放送等を除く）の制作業務および演出業務の委託

<適用しないもの>

- ・ 以下の業務を単独で委託する場合
  - \* 作詞・作曲、台本執筆等
  - \* 制作に関わる技術的役割の委託（照明、カメラ、編集等）
  - \* 美術関連の委託（大道具・小道具、衣装、メイク等）
  - \* CG制作の委託
  - \* その他の委託（リサーチ、翻訳、監修、HP作成、権利処理だけの業務等）
- ・ 演出補助業務とそれに準ずる業務の委託
- ・ 上記のほか、この基準を適用しないもの
  - \* アニメ番組、日本語版制作、データ放送等の制作業務および演出業務

3 この基準の構成等

- ・ 契約時には、附属の「ひな型」を用いて契約書を作成し、その中で基本条項を適用する。



## 2. NHKの国際放送について

- ①「放送法」や「国際番組基準」等に基づき、各年度の番組編集を実施
- ②「国際社会への公平・正確な情報発信と日本理解の促進」をミッションに、ニュース・報道や多彩な番組を発信

## 【日本放送協会 国際番組基準】

日本放送協会は、放送法の定めるところにより、わが国を代表する国際放送機関としての自覚のもとに、外国人向けおよび邦人向け国際放送および協会国際衛星放送を通じて、諸外国のわが国にたいする理解を深め、国際間の文化および経済交流の発展に資し、ひいては国際親善と人類の福祉に貢献するとともに、邦人に適切な報道および娯楽を提供するため、次のとおり外国人向けおよび邦人向け国際放送および協会国際衛星放送の放送番組の編集の基準を定める。

### 第1章 一般基準

- 1 編集にあたっては人権を尊重し、自由と民主主義とを基調とする。
- 2 内外のニュースを迅速かつ客観的に報道するとともに、わが国の重要な政策および国際問題にたいする公的見解ならびにわが国の世論の動向を正しく伝える。
- 3 外国人向け国際放送および協会国際衛星放送(以下「外国人向け放送」という。)にあつては、ひろくわが国の文化、産業等の実情を紹介する。
- 4 邦人向け国際放送および協会国際衛星放送(以下「邦人向け放送」という。)にあつては、邦人に適切な情報と安らぎを与える。
- 5 放送番組の編集にあつては、「国内番組基準」の「第1章 放送番組一般の基準」を準用する。(ただし書き略)

## 【2023年度 国際放送番組編集の基本計画】

### 編集の基本方針 ~新しいNHKらしさの追求~

ロシアによるウクライナ侵攻、世界的な物価高、パンデミックによる経済への打撃など国際情勢は大きく揺れ動いています。NHKの国際放送は、日本やアジアの視点から、世界の視聴者が求める公平・公正で確かな情報を発信します。

質の高いサービスを効果的・効率的に世界に届けるため、コンテンツのマルチ展開と多様な伝送路の活用を進めます。

災害のみならず安全保障、感染症などに関する安全・安心情報を、多言語で広く迅速に届けます。

### 2023年度 4つの重点事項

1. ポストコロナを見据え、日本の価値と魅力を世界に再発信
2. 世界で分断が深まる中、日本・アジアからの多様な視点を提示
3. 訪日・在留外国人向けに、安全・安心を支える情報発信を強化
4. 国内放送との連携、デジタル活用による効率的展開を拡大

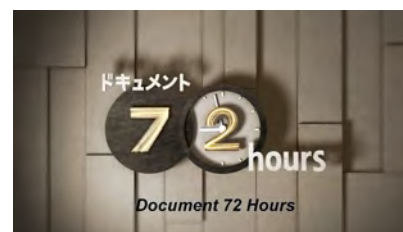
# NHK国際放送(外国人向け・テレビ)の編成と番組制作の現状

- ①「毎時ニュース＋一般番組」の5～6時間セットを4～5回ループで編成し、各国の好適視聴時間に効率的に対応(ニュースは最新の情報)
- ②番組制作提案は、定時番組については原則として年1回募集、特集番組については随時募集
- ③番組制作は、本体制作もしくは関連団体委託(日本国際放送[JIB]など)、外部プロダクションとも連携

## 【編成のイメージ(日本時間)】

9	00	NEWSLINE
	30	Journeys in Japan(紀行)
10	00	NEWSLINE
	30	Dining with the Chef(食)
11	00	NEWSLINE
	30	Document 72 Hours(ドキュメンタリー)
12	00	NEWSLINE
	30	Medical Frontiers(医療)
13	00	NEWSLINE
	30	DEEPER LOOK(インタビュー)

9 }	13	
14 }	18	//
19 }	23	//
		⋮



## NHK国際放送における民放・CATVとの連携

- ①毎年、特集番組として、民放・CATVが制作した番組のうち、コンクールで受賞したものなどの提供を受け、英語化して放送している
- ②この取り組みは、放送法第26条に基づく民放との連携の一環として、2009年度より実施している
- ③また近年は、「地域特集」の編成時等に、当該地域のCATV事業者が制作したミニ番組なども英語化して放送
- ④番組の英語版は、制作した事業者に還元しており、国際コンクールへの応募時などに利用されている

## 【2022年度 放送実績】

	番組名	尺	制作した事業者	コンクール受賞歴・備考	初回放送	
1	「からくり人形師」	50分	大垣ケーブルテレビ	第41回「地方の時代」映像祭ケーブルテレビ部門 優秀賞	7/2	
2	「丸裸温泉街」	50分	キャッチネットワーク	第41回「地方の時代」映像祭ケーブルテレビ部門 選奨	8/27	
3	「にっこり笑って～山あいの写真館 10年の物語～」	50分	高知放送	第41回「地方の時代」映像祭ケーブルテレビ部門 選奨	1/14	
4	「命の光を燃やし続ける～よだか診療所～」	30分	中海テレビ放送	第41回「地方の時代」映像祭ケーブルテレビ部門 選奨	2/18	
5	「大輝、15の春」	50分	長崎放送	第59回ギャラクシー賞テレビ部門 選奨	3/4	
6	「島の未来を守るために 海のサムライの挑戦」	30分	ぴ～ぷる	第47回日本ケーブルテレビ大賞番組アワード NHKワールドJAPAN賞	12/4	
7	「若竹の杜 若山農場」	3分	宇都宮ケーブルテレビ	地域特集「栃木月間」向けミニ番組	10/3	
8	「うつのみや花火大会」	3分			10/21	
9	「鹿沼秋まつり」	3分	鹿沼ケーブルテレビ		10/4	
10	「つがの里 ハス池」	3分	ケーブルテレビ株式会社		10/5	
11	「太山寺 しだれ桜」	3分			10/6	
12	「しもつかれ作り」	3分			10/7	
13	「寒ざらしそばと滝行」	3分			10/18	
14	「フレスコ画公開制作」	3分	佐野ケーブルテレビ		10/17	
15	「光のイベント2022」	3分	那珂川町ケーブルテレビ		10/19	
16	「流しびな」	3分	テレビ小山放送		10/20	
17	「一針一針心を込めて」	3分	石見ケーブルビジョン		地域特集「島根月間」向けミニ番組	2/6
18	「ふるさと遺産 諸手船神事」	3分	山陰ケーブルビジョン			2/7
19	「松江ふるさと遺産 月照寺」	3分				2/8
20	「松江ふるさと遺産 爾佐神社・流鏝馬神事」	3分				2/9

# NHK国際放送のインターネット配信の現状

- ①世界中で放送からネット配信へのシフトが進む中、公式ウェブサイト・アプリを中心に、外部プラットフォームも有効活用しながら、重点的にネット配信を行っている
- ②公式ウェブサイト・アプリでは、放送の同時配信(24時間)およびオンデマンド配信(2,300本以上)のほか、テキストニュースや多言語コンテンツ、日本語学習コンテンツ等を提供
- ③また送信網においても、視聴者の利便性向上やコスト低減を図るため、「衛星放送」や「短波放送」中心の送信網から、海外OTT事業者等への提供を含む「ネット併用型」送信網へのシフトをすすめている ※在外邦人向けサービス含む
- ④四半期リーチ率は「放送」が9~10%、「ネット配信」が13~14% ※国際戦略調査 2021年度以降



**【公式ウェブサイト・アプリ】**  
「大相撲」は、公式ウェブサイト・アプリの中で最も人気が高いコンテンツのひとつ



**【外部プラットフォーム】**  
「Digital Eye - Ukraine」はYouTubeで440万回再生されておりCNNなどからの流入も多い

***NHK***